

働き方改革と健康経営

一組織の視点、個の視点から考えるメンタルヘルス一

働き方改革関連法案は、2019年から段階的に施行されました。これにより、職場では以下のような取り組みが進められています。

- 長時間労働の是正: 長時間労働を改善し、働く人々の健康とワークライフバランスを考慮した働き方を推進しています。
- 柔軟な働き方の導入: リモートワークやフレックスタイムなど、働く人々が自分に合った働き方を選べる環境を整備しています。
- 健康経営の推進: 企業は従業員の健康を重視し、生産性向上を目指すためにメンタルヘルスケアなどに取り組んでいます。

一方で、厚生労働省の労働安全衛生調査によれば、令和4年度の調査ではメンタルヘルス対策に取り組む企業は増えていますが、状況の改善は必ずしも順調ではありません。(令和4年 労働安全衛生調査(実態調査) | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)より)

このような状況を踏まえ、今後ますます多様な働き方が広がる中で、働く環境の変化がメンタルヘルスにどのような影響を与えるのか、その変化にどのように対応していくべきかを考える機会にしたいと思います。(一般社団法人日本うつ病センター(JDC)名誉理事長 樋口 輝彦 先生)

2024年

日時

7月13日(土) 15:30~17:30

場所

大阪国際交流センター1階大ホール(第1会場)
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目2-6

開催形式 現地開催:事前登録制 対象:一般市民の皆様(事前登録制)どなたでもご登録いただけます。

プログラム

大会長挨拶

大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学 教授 井上 幸紀先生

講演

司会:一般社団法人日本うつ病センター(JDC)名誉理事長 樋口 輝彦先生

①企業におけるメンタルヘルス不調—職務適正と適正配置—

特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長
岡田産業医事務所 代表

岡田 邦夫先生

②就労者のうつ病—まず自身で気づこう、そして上司や同僚にサポートを求めよう—

大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学
講師

出口 裕彦先生

パネルディスカッション

司会:一般社団法人日本うつ病センター(JDC)理事長/飯田病院 顧問/九州大学 名誉教授 神庭 重信先生

働き方改革で生じているメンタルヘルスにおける課題とその対応

パネリスト:

特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長
岡田産業医事務所 代表

岡田 邦夫先生

大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学
講師

出口 裕彦先生

弁護士法人ライフパートナー法律事務所
所長

生越 照幸先生

【参加申込みについて】

参加費:無料 定員:1000名
対象:一般市民の皆様(事前登録制)
学会参加の方は、学会HPよりお申込みください。

【学会HP掲載】

申込先:下記URLまたは二次元コードよりご登録ください。
<https://entry2024.swdb.jp/>

